

V-RESAS

～新型コロナウイルス感染症の地域経済への影響の見える化～



令和4年2月

内閣官房 デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

内閣府 地方創生推進室

V-RESAS

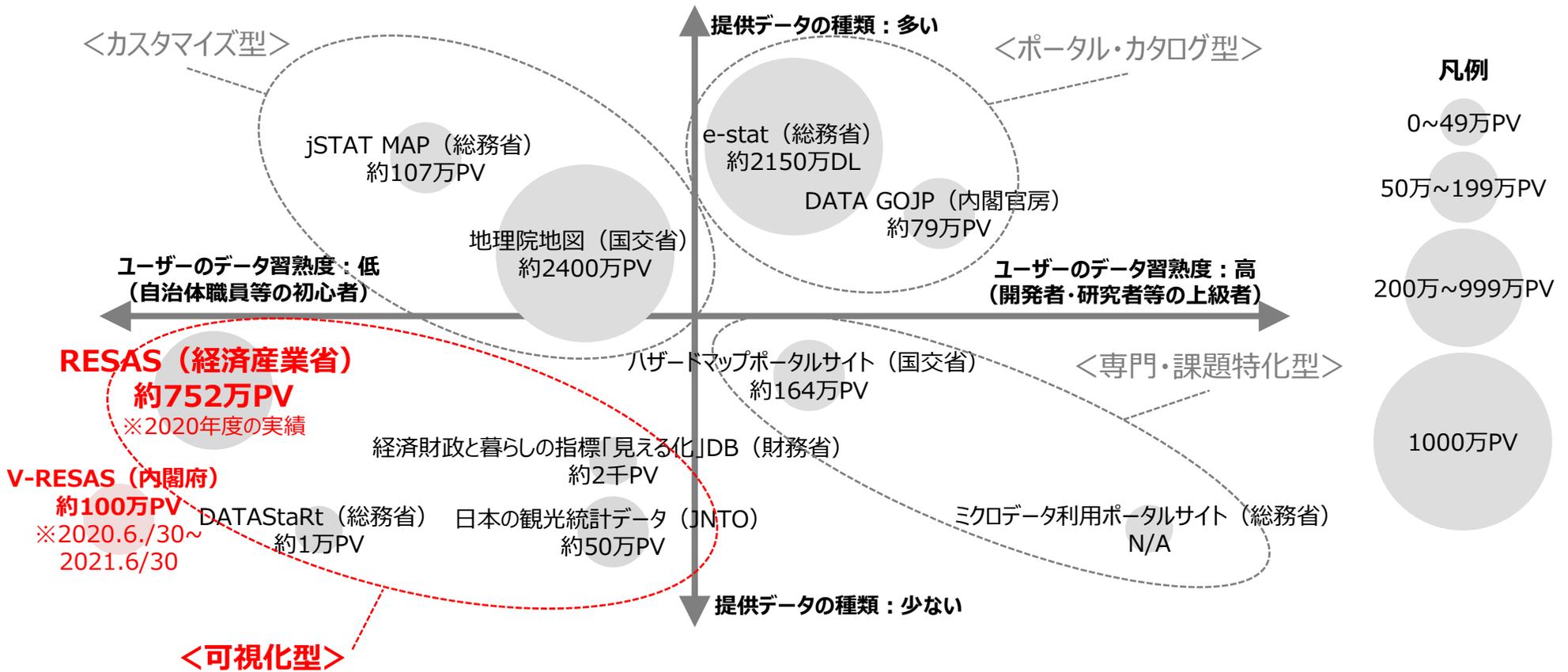
- **地域経済における感染症や災害等の影響をリアルタイムで可視化**、地方公共団体の政策立案や金融機関、商工団体の中小企業支援をサポート。令和2年6月運用開始。
- 経済の足下の状況を把握すべく、**1週間おきにデータを更新、速報性を重視**。地域経済の健康状態 Vital Signs of Economyを把握可能。
- PCのみならず、タブレット・スマホからでも閲覧可能。 <https://v-resas.go.jp>



データ項目	地域単位	時間単位	データ提供企業
移動人口の動向（人の動きの活発度）	都道府県／地点	週次／日次	株式会社Agoop
決済データから見る消費動向 （クレジットカード利用等での消費支出）	都道府県	半月次	株式会社ジェーシービー 株式会社ナウキャスト
POSで見る売上高動向 （主にスーパーマーケットでの消費支出）	都道府県	週次	株式会社日本経済新聞社 株式会社ナウキャスト
飲食店情報の閲覧数 （グルメサイトの閲覧状況）	都道府県／エリア	週次	Retty株式会社
宿泊者数（ホテル・旅館の宿泊者数の状況）	都道府県／エリア	月次／週次	観光予報プラットフォーム推進協議会
イベントチケット販売数 （イベント開催やチケット予約の状況）	都道府県	月次	ぴあ株式会社
求人情報数（求人サイトの求人状況）	都道府県	週次	株式会社フロッグ
企業の財務状況の動向 （会計アプリで見た企業の財務状況）	全国	月次	freee株式会社

● 政府が提供する主要なデータ利活用支援ツールを、ユーザーの熟度と提供データの多寡に応じて整理。RESAS・V-RESASは、初心者にも使えるツールとして位置づけられる。

<各ツールの位置づけ>



資料：内閣官房「地方公共団体のデータ利活用に関する調査（令和2年3月）」を基に、一部追記して作成。

- 「移動人口」では、その地域で、外出している人口がどの程度あるのかを把握できる。具体的には、居住している市区町村を推定し、この居住する市区町村から外に出た人口。
- スマートフォンの特定のアプリケーションから、ユーザの同意の上、GPSデータを取得。

全国の推定居住地ごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日～2022年1月23日

滞在人口の推定居住地：

■ 都道府県外



- 「滞在人口」では、その地域に滞在している人口を、2019年同週比で表している。
- 滞在している人が、居住地の別（市区町村内、都道府県内、都道府県外）で把握できる。

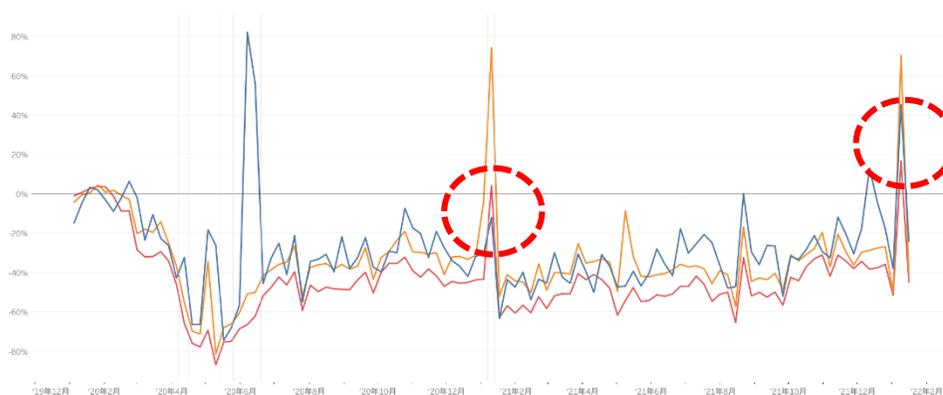
東京都の滞在人口の動向 - 推定居住地ごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日 - 2022年1月16日

代表観測地点
東京駅

時間帯
すべての時間帯

滞在人口の推定居住地：
■ 市区町村内 ■ 都道府県内 ■ 都道府県外



V-RESAS <https://v-resas.go.jp>

出典：株式会社Agoop「流動人口データ」（GPSデータを元に換算処理を施した人口換算値）を元に集計

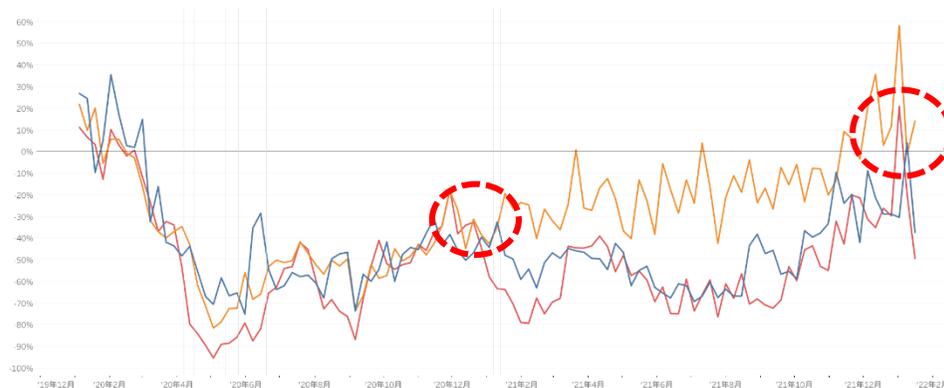
沖縄県の滞在人口の動向 - 推定居住地ごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日 - 2022年1月16日

代表観測地点
那覇空港駅

時間帯
すべての時間帯

滞在人口の推定居住地：
■ 市区町村内 ■ 都道府県内 ■ 都道府県外



V-RESAS <https://v-resas.go.jp>

出典：株式会社Agoop「流動人口データ」（GPSデータを元に換算処理を施した人口換算値）を元に集計

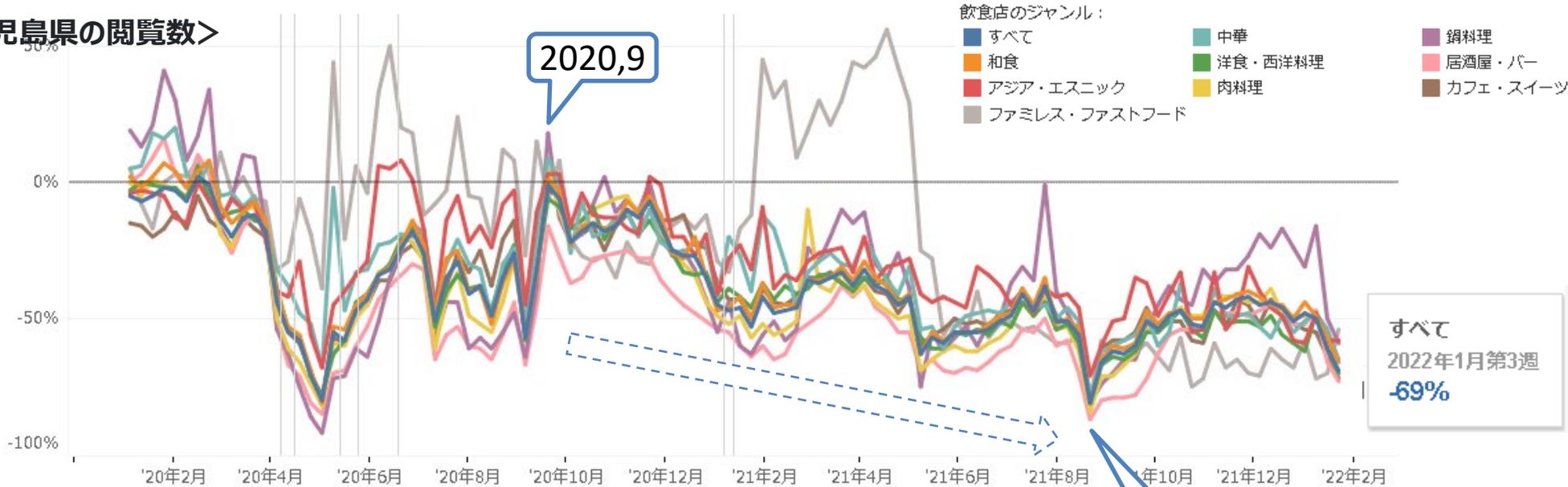
東京駅の滞在人口推移

沖縄県の滞在人口推移

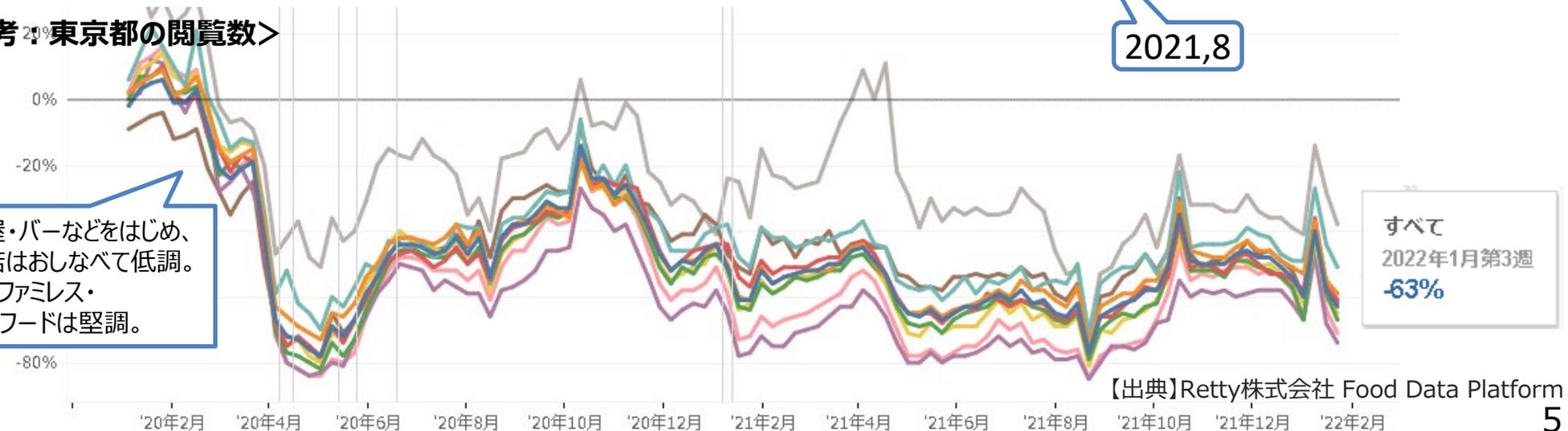
東京・沖縄ともに昨年に比べると年末年始の帰省者が増加。

○ 飲食店情報サイトRettyの閲覧数を、2019年同週比で表している。

<鹿児島県の閲覧数>



<参考：東京都の閲覧数>



➤ 日本経済新聞社／ナウキャストデータから、全国約1200店舗のスーパーのPOSレジにより集計された品目別の売上高を2019年同期比で表している。

POSで見る売上高動向 - 地域ブロックごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日～2022年1月16日

品目の種別

乳製品、豆乳類 - 生クリーム

地域ブロック：
 ■ 全国 ■ 東北 ■ 北陸 ■ 近畿 ■ 四国
 ■ 北海道 ■ 関東 ■ 東海 ■ 中国 ■ 九州・沖縄



V-RESAS <https://v-resas.go.jp>

出典：ナウキャスト、株式会社日本経済新聞社「日経CPINow」

生クリームの売上高動向

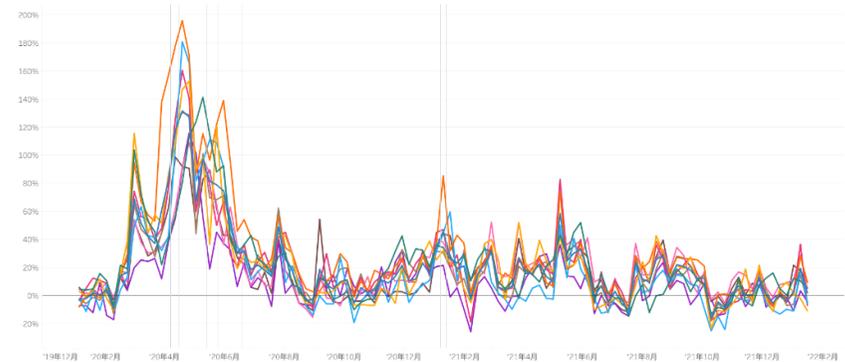
POSで見る売上高動向 - 地域ブロックごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日～2022年1月16日

品目の種別

ジャム、スプレッド、プレミックス - プレミックス

地域ブロック：
 ■ 全国 ■ 東北 ■ 北陸 ■ 近畿 ■ 四国
 ■ 北海道 ■ 関東 ■ 東海 ■ 中国 ■ 九州・沖縄



V-RESAS <https://v-resas.go.jp>

出典：ナウキャスト、株式会社日本経済新聞社「日経CPINow」

プレミックスの売上高動向

緊急事態宣言等で家庭で過ごす時間が増えたため、
売上増と予測。

- 観光予報プラットフォームのデータをもとに、宿泊者数を2019年同期比で表している。
- 旅行会社店頭、予約サイト、外国語予約サイトなどから匿名加工されたものを収集（提供元は非公開）。

宿泊者数 - 地域ブロックごとの2019年同期比の推移

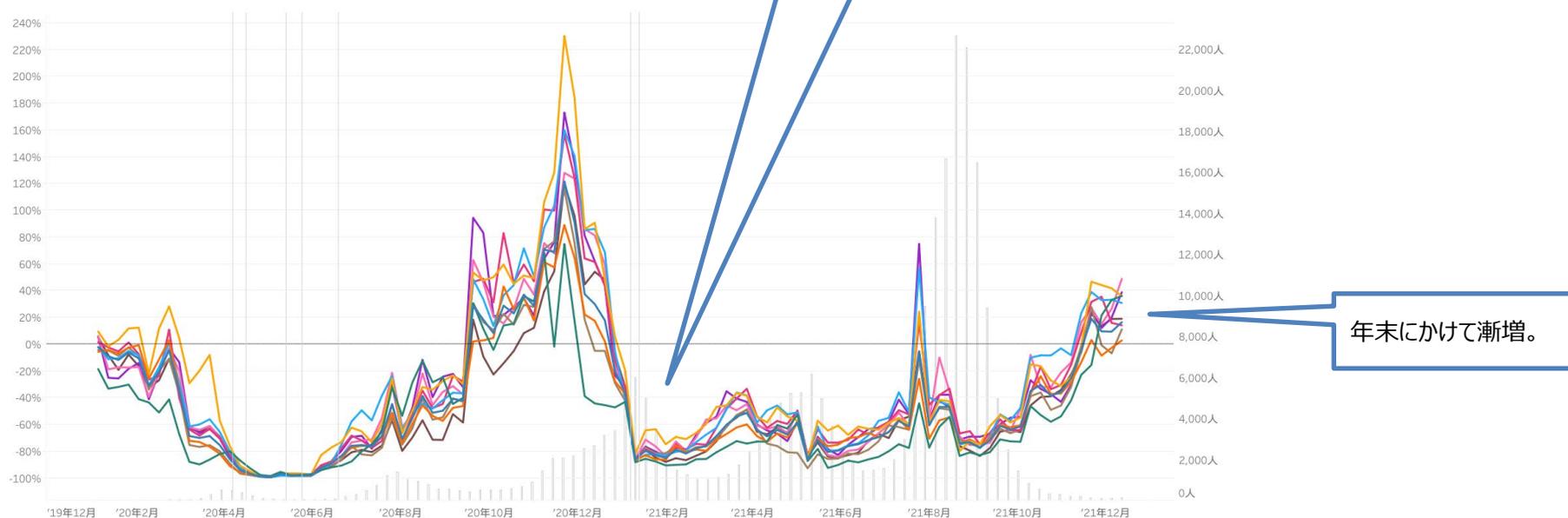
2019年12月30日 ~ 2021年12月12日

宿泊者の分類

すべての参加形態

地域ブロック：

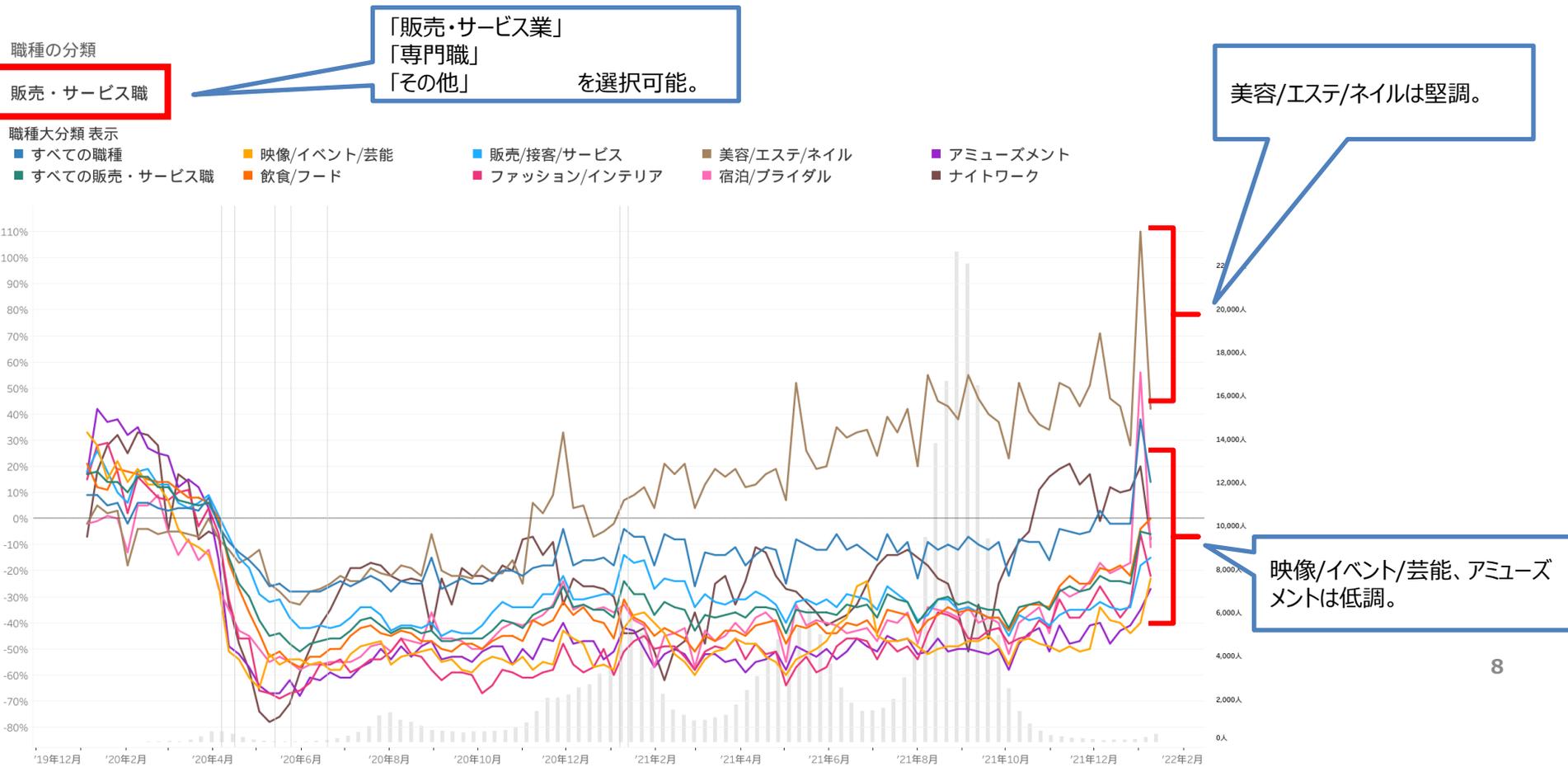
- | | | | | |
|-------|------|------|------|---------|
| ■ 全国 | ■ 東北 | ■ 北陸 | ■ 近畿 | ■ 四国 |
| ■ 北海道 | ■ 関東 | ■ 東海 | ■ 中国 | ■ 九州・沖縄 |



- Web上の複数の求人情報サイトから収集した求人情報数を可視化。
- 各都道府県及び職種における、求人情報数を週毎に合計、職種別に2019年同週比で表している。

全国の求人情報数 - 職種ごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日 ~ 2022年1月9日



V-RESASの活用事例

- 「緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金」制度では、**支援金を受けるための保存書類の作成例として「人の移動」のデータが活用**されている。
- その他、地方公共団体をはじめ、金融機関や商工団体など民間でも活用されている。

〈活用事例〉

● 「どうみん割」の効果測定（北海道庁）

- 北海道の宿泊客数を宿泊者分類と予約代表者の居住地ごとに分析。2020年7月1日から始まった道民の道内旅行を対象とする「どうみん割」の効果測定した。結果、「どうみん割」は一人旅、子供連れ、カップルを中心に宿泊客数を押し上げる効果があったとされた。

● コロナ禍の客層の変化を踏まえたターゲットの見直し（温泉観光地）

- 団体観光客を中心に集客を行っていた温泉観光地で、コロナ禍で団体客が減少し、個人客や男女2人の少人数利用者が増加したことを宿泊者数の宿泊者分類で把握。団体客向けであった商品ラインナップを、個人客向けのラインナップに変更した。

● 人流データを売上予測に活用（駅前商店街）

- 緊急事態宣言発令後に客足が激減したが、店舗要因なのか環境要因なのか、定量的な判断がつかなかった。立地する駅前の人流の増減と売上の増減の比較を行い、環境要因による減少影響部分を認識。今後の売上予測を行った他、助成金申請の際の資料として活用した。

国の支援制度におけるV-RESASの活用事例（一時支援金）

- 「**緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金**」制度では、令和2年1月の緊急事態宣言で売上が半減した中小法人に60万円、個人事業者に30万円を上限に支給。
- **支援金を受けるための保存書類の作成例としてV-RESAS「人の移動」のデータが活用されている。**具体的には、宣言対象外の地域の旅行関連事業者は、所在地域に来る旅行客の5割以上が宣言地域内から来訪していることを確認する必要があり、事例としてV-RESASのデータの取得手法を紹介。

2-4. 宣言地域外で特に外出自粛の影響を受けている地域の分析方法例④



- 手順**
- ① ページ中段の「**沖縄県の都道府県を跨いだ移動**」の「**エリア**」において、**自社所在地の属するエリアを選択**する。
 - (例) 沖縄県の「南部」へ行く場合、エリアのプルダウンメニューから「南部」を選択する
 - ② 「エリア」の下の選択肢について、**自社所在地の属するエリアへ移動**を選択する
 - ③ 画面右下の**ファイルダウンロード**ボタンをクリックする。
 - ④ 上記押下後にポップアップで表示される**CSVをダウンロード**のボタンをクリックする。

2-8. 宣言地域外で特に外出自粛の影響を受けている地域の分析方法例⑧

イメージ

手順

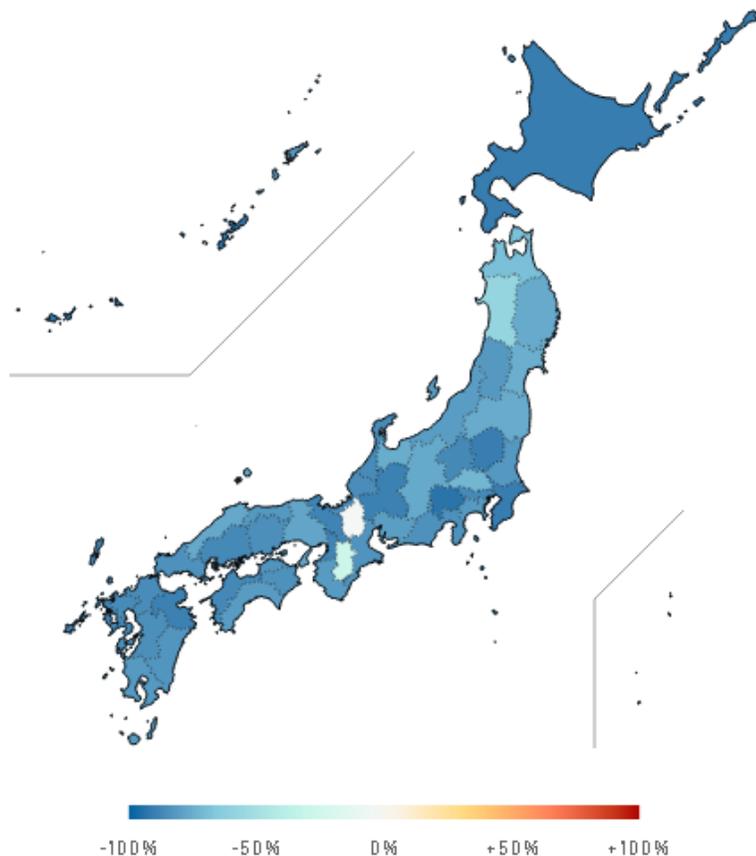
- ① 左図のとおり、D列に表示される**11都府県の構成比をすべて選択**する。
- ② 選択したセルの合計値を計算するため、Excelの「**数式**」タブを選択した上で、「**オートSUM**」の「**合計(S)**」をクリックする。

ダウンロードして分析

自治体におけるV-RESAS活用事例（北海道庁①）

- 日本全体では令和2年4月から6月、緊急事態宣言後に大きく落ち、ほぼ▲100%。
- その後、9月後半から急回復→令和3年1月第1週に急減しており2月第4週は全国平均▲85%。

2021年1月25日～31日の2019年同週比

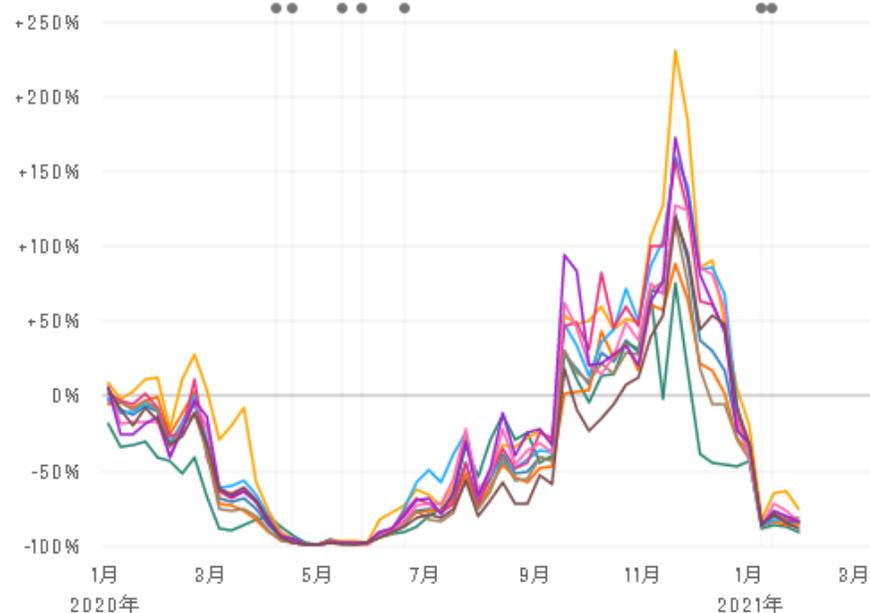


地域ブロックごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日～2021年1月31日

地域ブロック:

■ 全国 ■ 北海道 ■ 東北 ■ 関東 ■ 北陸 ■ 東海 ■ 近畿 ■ 中国
■ 四国 ■ 九州・沖縄



自治体におけるV-RESAS活用事例（北海道庁②）

- どうみん割制度の効果を測定。
 - 宿泊者の分類別にみると、7月から一人旅（茶色の線）→子供連れ（緑の線）→カップル（橙色の線）の順に増えている。
 - 宿泊者の住所別にみると、北海道の住民（緑色の線）の宿泊が、7月から急増。
→7月1日から道民の道内旅行を対象とする「**どうみん割**」が始まったことが関係している。

北海道の宿泊客数、分類別（令和元年同月比）

北海道の宿泊者数 - 宿泊者の分類の2019年同月比の推移

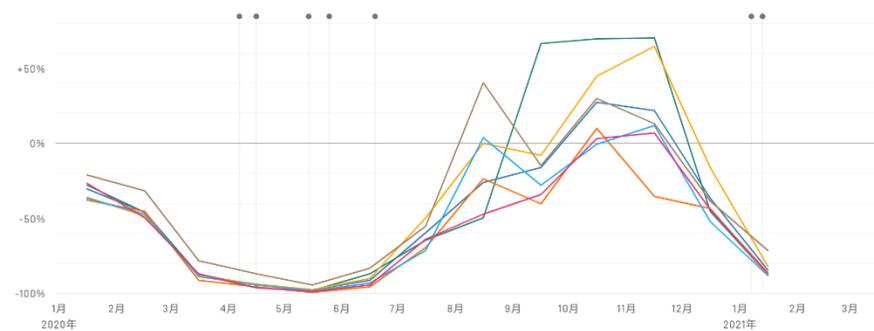
2020年1月1日～2021年1月31日

エリア

北海道全体

宿泊者の分類:

■ すべての宿泊者の分類
 ■ 子ども連れ（子ども = 13歳未満）
 ■ 男女二人（カップル・夫婦）
 ■ 女性グループ
 ■ 男性グループ
 ■ 男女グループ（子ども含む）
 ■ 一人



北海道の宿泊客数、予約者の住所別（令和元年同月比）

北海道の予約代表者の居住地ごとの宿泊者数 - 予約代表者の居住地ごとの2019年同月比の推移

2020年1月1日～2021年1月31日

エリア

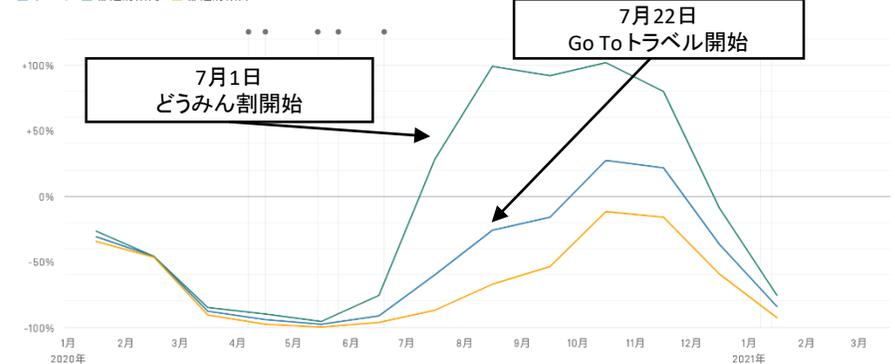
北海道全体

宿泊者の分類

すべての宿泊者の分類

予約代表者の居住地:

■ すべて
 ■ 都道府県内
 ■ 都道府県外



自治体におけるV-RESAS活用事例（北海道庁③）

（前頁の旅行者の居住地）

➤ 東京都からの旅行者（黄色の帯）が9月から10月に、倍以上に増えている。

→ GoToトラベルは、7月22日に開始されたが、東京発着は10月1日に開始。

北海道の旅行者の宿泊動向 - 旅行者の移動の最新上位10都道府県

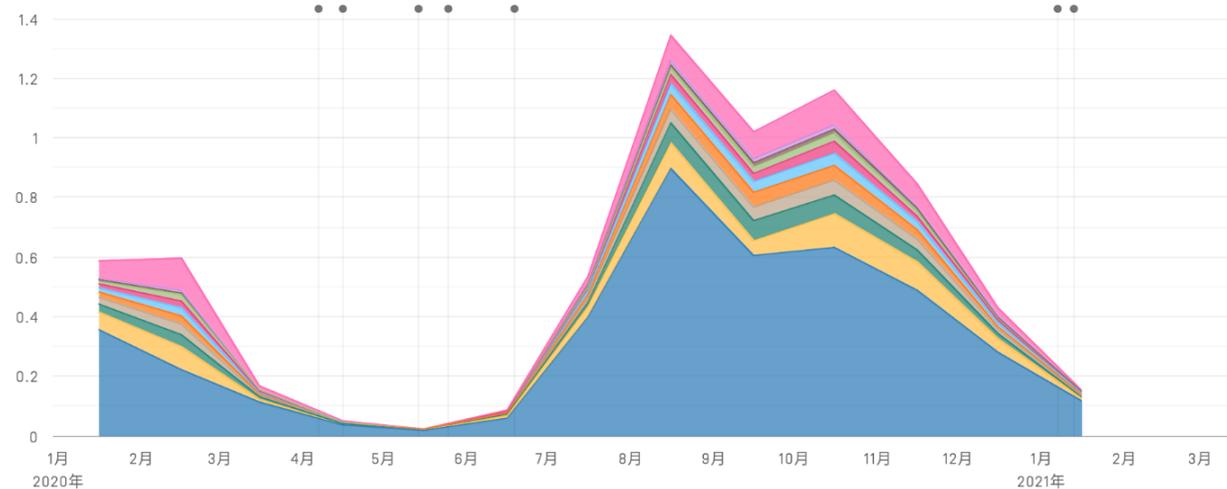
2020年1月1日～2021年1月31日

方向

北海道への旅行者の居住地

最新上位10都道府県:

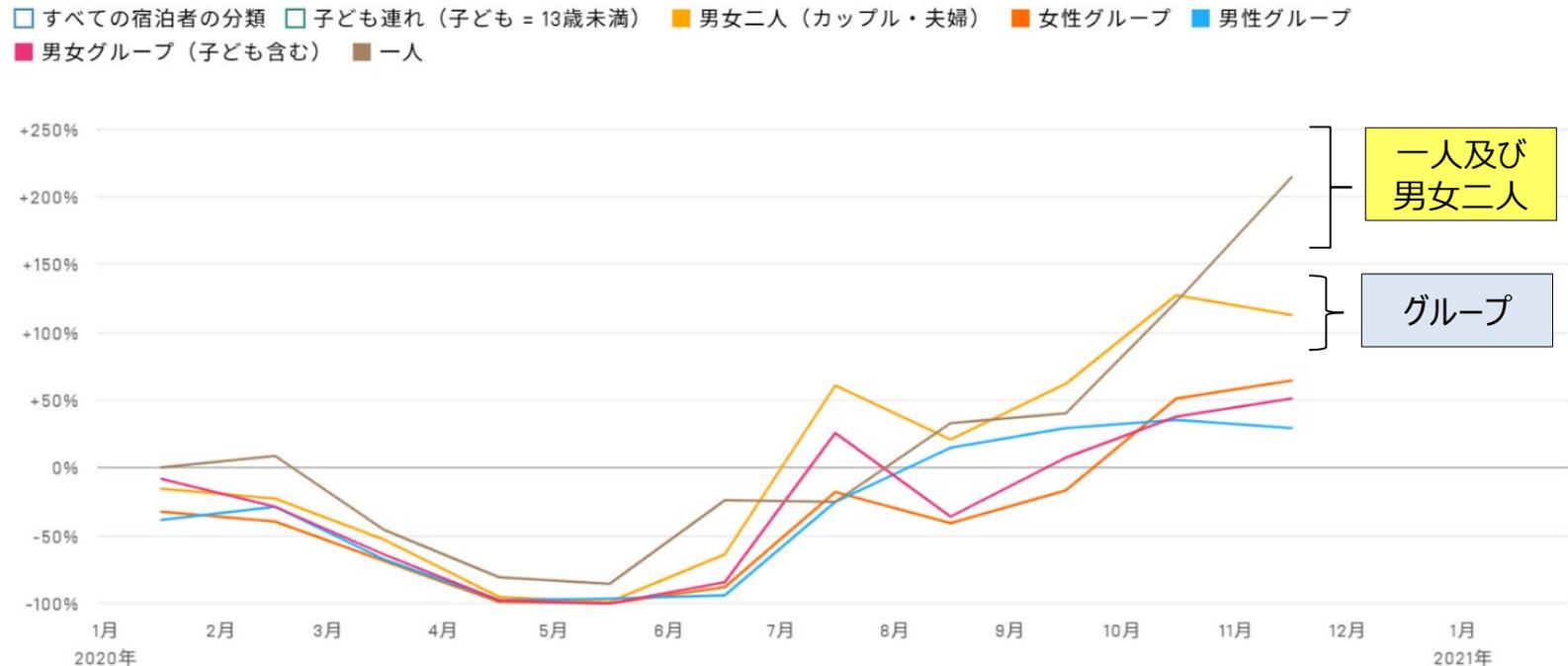
■ 北海道 ■ 東京都 ■ 神奈川県 ■ 大阪府 ■ 埼玉県 ■ 千葉県 ■ 愛知県 ■ 兵庫県 ■ 宮城県 ■ 京都府 ■ その他



民間におけるV-RESAS活用事例（温泉観光地）

- コロナ時代における客層の変化を踏まえ、温泉観光地における販売商品の見直しに利用。
- 当該温泉地は団体観光客がメイン顧客であったが、コロナ感染拡大後は団体客が減少し、個人客や男女2人といった少人数での利用者が増加。
- 店主は肌感覚としてこの傾向を把握していたが、V-RESAS上からもそれが裏付けられることを確認。団体客向けであった商品ラインナップを、個人客向けのラインナップに変更した。

宿泊者の分類の令和元年同月比の推移



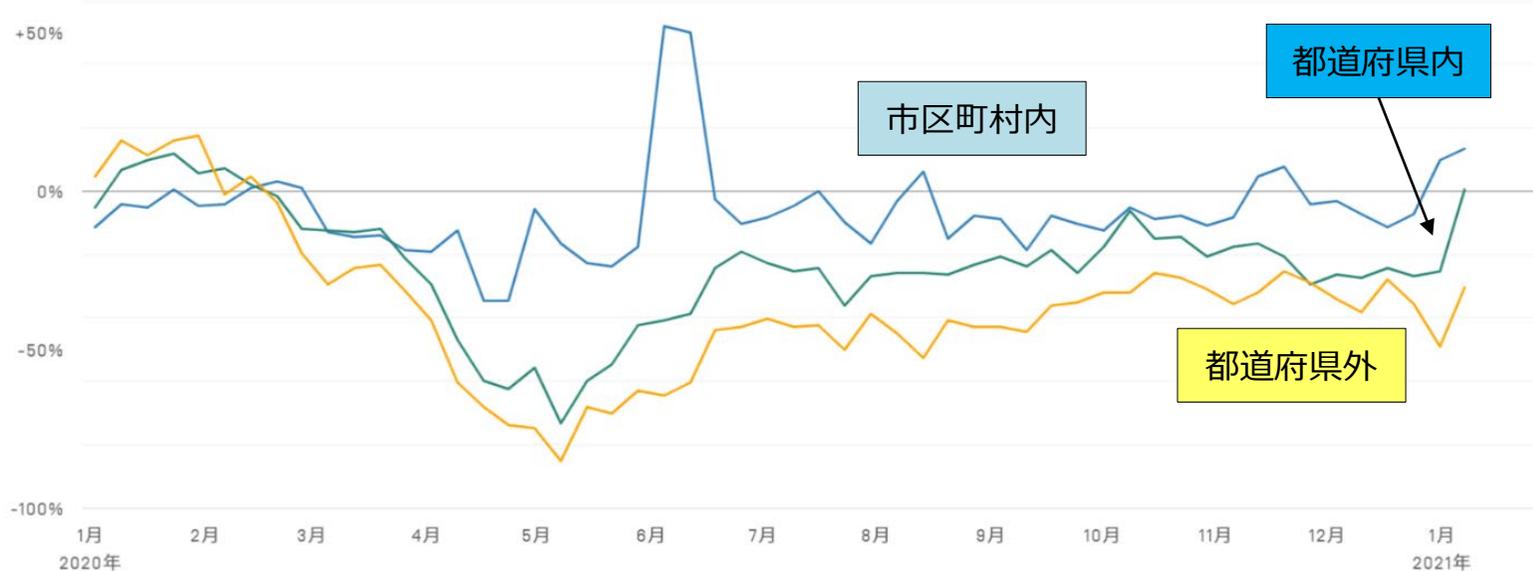
民間におけるV-RESAS活用事例（駅前商店街）

- 人流データを売上予測等に活用。
- 令和2年春の緊急事態宣言発令後に客足が激減。立地する駅前の人流の増減と売上の増減（≒来客数の増減）が概ね一致している傾向を把握。
- 店主は売上予測や助成金申請の際の資料作成（エビデンスとして活用）に活用した。

滞在人口の動向 - 推定居住地ごとの2019年同週比の推移

滞在人口の推定居住地:

■ 市区町村内 ■ 都道府県内 ■ 都道府県外



政策立案ワークショップ

- 地方公共団体における、データに基づく施策の立案を促進、もしくは実施した施策の効果をデータにより検証し、次の施策立案に活かすEBPMに取り組むことで施策の改善を行うとともに、ワークショップで得られたデータに基づく施策の立案事例を全国に周知し、横展開を図る。

【開催実績】

令和3年度 4回（令和4年1月時点） 令和2年度 1回 令和元年度 6回 平成30年度 10回

【令和3年度】

- 2021年8月11日、9月28日、11月19日 鹿児島県薩摩川内市
有識者として、デロイトトーマツコンサルティング合同会社の大村浩之氏を選定し、「今後の移住定住施策」のテーマで検討を行っており、既存施策の効果検証や今後の移住定住支援策の方針を決定予定。
- 2021年7月1日 福岡県宗像市
有識者として、農業、水産業、観光の専門家である東京農業大学の堀田和雄彦氏を選定し、「地域産業（農業・水産業・観光業）の高付加価値化に係る施策」のテーマで開催。①農業体験等を通じた産業の高付加価値化による一次産業の所得向上、担い手の育成を図ることや、②市内の直売所の農水産物を飲食店等に直接配送する仕組みを構築し、宗像産農水産物の活用促進と宗像産PRの拡充を図る方針を決定。

【令和2年度】

- 2021年1月 山形県天童市
有識者として、経済地理学の専門家である東京大学の松原宏教授を選定し、「ポスト製造業に向けた新たな産業政策」のテーマで開催。①『ひと』を呼び込む産業、②地域経済に『しごと』を生む産業、③「まち」の強みを生かし、伸ばす「しごと」の3つの条件に該当する企業の誘致を行い、産業振興を図る方針を決定。

自治体におけるワークショップの事例（新潟県上越市）

- 内閣官房・内閣府・経済産業省・関東経済産業局が連携し、RESASを活用した政策立案ワークショップを開催（令和元年11月）。地域・企業分析を実施した結果、市内の企業支援の体制拡充につながった。

1. 課題

- 人口の自然減と社会減が同時進行。学生の進学や就職で市外への転出が超過。
- 地元企業が若者の働く場として定着しておらず、「安定的で魅力のある雇用の創出」が大きな課題。

2. RESAS分析による気付き

- 上越市における付加価値額、雇用創出において「製造業」が高い割合を占めており、特に化学工業をはじめとした5業種は全国と比較しても特化。他業種の製造業においても労働生産性等の改善による伸びしろが期待。
- 加えて、上越市独自の分析で市内の大企業・中小企業の事業構造で大企業と市内の他企業との取引関係が希薄であることが判明。



<ワークショップの様子>

3. 具体的な取組例

- 上越市は、産官学金で構成された「地域中核企業成長促進協議会」を設立（令和元年9月）。地域内取引や雇用の拡大による人材確保に向けた支援施策や体制等の検討を実施。
- 関東経産局が地域未来投資促進法基本計画の策定や地方創生推進交付金獲得を支援。
- 令和2年度には、企業による提案型モデル支援事業や生産性向上支援事業等の中核企業への支援を実施するとともに中小企業への支援機関体制を構築。

自治体におけるワークショップの事例（鳥取県米子市）

- 当初、米子空港へ中国からの直行便就航に向け、インバウンド戦略を考える**政策立案ワークショップ**を開催（令和元年10月）。
- コロナ感染拡大に伴い、市内皆生温泉における観光戦略練り直しに方針転換し、中長期ビジョンの策定・実行組織を組成し、利用客減少の悪循環解消を目指した取り組みを開始。

1. 課題

- 鳥取県全体の観光客数は増加基調にあるが、皆生温泉の観光入込客数は直近20年で3割減少。
- 8月（海水浴）・11月（松葉ガニ解禁）に観光客が集中するも、年間を通じ減少傾向。
- 団体観光客の減少傾向にあるが、個人観光客の増加に結び付いていない。

2. RESAS分析等による気づき

- もともと外国人観光客の割合は低く、コロナによる外国人観光客激減のインパクトは大きくない。県内・近隣各県の利用客が主とみられ、これら地域の個人客の増加により活気が取り戻せるのではないか。
- アンケート結果を分析すると、皆生温泉街に観光・グルメ・ショッピング等街歩きを楽しめる場所がないことが課題（寂れた海岸や空き店舗があると同時に歓楽街が目立ち、個人旅行が楽しめる雰囲気ではない）。

3. 具体的な取組例

- **皆生温泉を継続的目つ自立して進行させていくことをミッションに、皆生温泉振興組織を立ち上げ、彼らが温泉全体のビジョンの計画実行策定・実行・ソーシャルマーケティングを担う。**
- 次いで、コンテンツの課題解消に向けた店舗誘致やライトアップなどの各種施策を行う。**地方創生推進交付金を獲得**しており、これら初期立ち上げに充当、早期の自立を図る。

- データ活用の重要性を理解していただき、将来的に**EBPMを実践できる人材の育成を支援。**

<概要>

- 目的
地域経済分析システム（RESAS）などのデータを活用し、地域をデータで分析するスキルの習得を目指す。
- 研修内容
 - RESAS分析手法、RESASの活用事例等について、座学形式で説明の他、グループワークも実施。
 - 研修時間：2時間程度
- 派遣する講師
内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局職員、各局職員、RESAS専門委員（有識者等）

2022年度実施予定

- 都道府県
岩手県、秋田県、山形県、神奈川県、和歌山県、香川県、山口県
 - 政令指定都市
千葉市、静岡市、京都市、岡山市
- ※地方公共団体の他、高校や商工会等でも実施。



データ分析セミナー

データ分析セミナー

➤ 目的

RESAS等を活用したデータ利活用スキル向上の支援を目的とする。

➤ 事業内容

毎月有識者を招き、オンラインセミナーを実施。

セミナー終了後、動画と資料をHPで公開している。

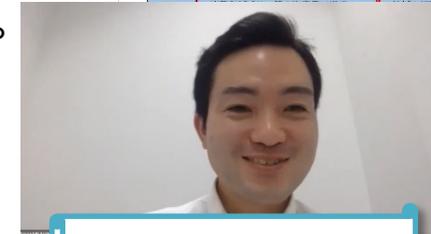
<https://www.chisou.go.jp/sousei/resas/dataseminar.html>

亀岡市の課題と戦略（まとめ）

■ これからの20年間の人口減少 = ①生産年齢人口の減少と②高齢化率の上昇

<データから見逃せる課題>

財政 - 山崎の4割を占める山崎地区が減少
 民生費の削減は喫緊し、財政は緊縮化（対策例） 健康寿命の延伸
 を変革するアイデアは通り



元亀岡市副市長 仲山徳音氏

戦略3
 まちづくりの「地域形質」を促す
 （＝呼びかけよりも仕組みづくり）
 理由
 之れだけでは、地域の外に資金が流出し、（＝）がなれない
 取り組み例
 地域循環性生業づくり
 コミュニティ形成、SDGs
 率の上昇 のための投資

令和3年度開催実績

	開催日	テーマ	講師
第6回	4月13日	まちづくりにデータを活用しよう	(株)まちづくり松山 加戸慎太郎氏
第7回	4月27日	元副市長が教えるRESAS分析術～京都府亀岡市にいた2年間～	元亀岡市副市長 仲山徳音氏
第8回	5月19日	自治体初CDOが推進するデータ利活用モデル	神奈川県庁 齊藤源一郎氏
第9回	6月23日	まちの魅力の見つけ方、伝え方	流山市役所 河尻和佳子氏
第10回	7月21日	EBPMで成果を出す“本当”のデータリテラシー	データ&ストーリーLCC 柏木吉基氏
第11回	8月26日	地域経済循環図でお金の流れを「見える化」しよう	株式会社価値総合研究所 山崎清氏
第12回	9月21日	AIを活用した未来構造と政策立案	京都大学 広井良典氏
第13回	10月27日	地域活性化のためのSNSの活用と効果測定	(一社)SNSエキスパート協会 後藤 真理恵氏
第14回	11月17日	ビッグデータ分析から見る災害が地域に与える影響	ネブラ株式会社 代表取締役 阿部博史氏
第15回	12月22日	地域交通におけるデータ活用の在り方を考える	東京大学大学院 准教授 伊藤昌毅氏
第16回	1月26日	将来推計人口の導き方、読み解き方	国立社会保障・人口問題研究所 久井情在氏
第17回	2月16日	自治体からみた人口減少社会の影響分析	新潟市都市政策部GISセンター 長谷川普一氏

地方創生☆政策アイデアコンテスト

- RESASを活用して地域の状況を分析し、地域を元気にするアイデアを広く募集する「地方創生☆政策アイデアコンテスト」を2015年度から毎年開催。
- 今年度の応募総数 **963件**。視聴者数 **13,712人**。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、全国40カ所以上の自宅・学校・職場から発表者・審査員が中継をつないで参加。
- 最終審査会を令和3年12月11日に開催し、地方創生担当大臣賞(各部門1組)、優秀賞(各部門2組)、協賛企業賞(各部門9組)を選出。

地方創生担当大臣賞の受賞チーム

【高校生・中学生以下の部】

タイトル：Maison de chat (ネコの家)

チーム名：愛知高等学校 安藤愛菜

【大学生以上一般の部】

タイトル：国産杏仁オイルが日本一のおんずの里を守る

チーム名：株式会社ビジネスクロス&株式会社M.アヴァンス

【地方公共団体の部】

タイトル：家庭から排出される紙おむつのリサイクル

チーム名：座間市環境経済部資源対策課

URL: <https://contest.resas-portal.go.jp/2021/prize.html>



- アイデアコンテスト入賞作品の実現化に向け、各種支援を行う。

<概要>

➤ アイデアコン入賞作品に対し、有識者による助言、及び実現のための実行支援（動画作成など）を行った。

○実現のための実行支援（動画の作成）

【令和元年度】

女子高生がもち麦で加東市に革命をおこしちゃう話（兵庫県立社高等学校）

地域とともにある学校 園芸療法で加古川市をささえる高校生の力

（兵庫県立農業高等学校）

【令和2年度】

もったいないをなくそう！未利用魚消費大作戦！（長岡工業高等専門学校）

みんなを笑顔に！離れていても、集まろう！（加登屋酒店&しんきん地方創生サポーターズ）



○有識者助言の成果物は掲載済。

・2019年度：2019年度受賞3チーム及び2018年度受賞1チームの計4チームをフォロー。

・2020年度：2020年度受賞5チーム及び継続事業として2019年度受賞2チームの計7チームをフォロー。

※成果物については地方創生の下記ホームページに掲載。

https://www.chisou.go.jp/sousei/resas/idea_contest.html

教育の取組（RESAS for Teachers）

- 令和2年3月、教育現場でRESASを活用した授業を円滑に展開するため、高校等向けに8種の授業モデル（RESAS副教材）を、「RESAS for Teachers」で公開。
- RESAS副教材の周知と教員間のコミュニティ形成により、自律的な地域人材の育成の発展を目指す、「RESAS de 地域探究」を実施。

○ RESAS副教材 概要

➤ 目的

「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説（歴史地理編）」にRESASが盛り込まれたことを背景に、教育現場でRESASを活用した授業を円滑に展開し、データを通じた探究学習の普及及び地域人材の育成の強化を目指す。

➤ 教科／科目

「地理総合」、「商業（観光ビジネス）」、「国語」、「情報」、「総合的な探究の時間」

➤ モデル授業案概要

- 学習指導案
指導計画、本時の学習など（学習活動・内容、指導上の留意点、教材・資料について記載）
- 授業用スライド、ワークシート
- 実践事例

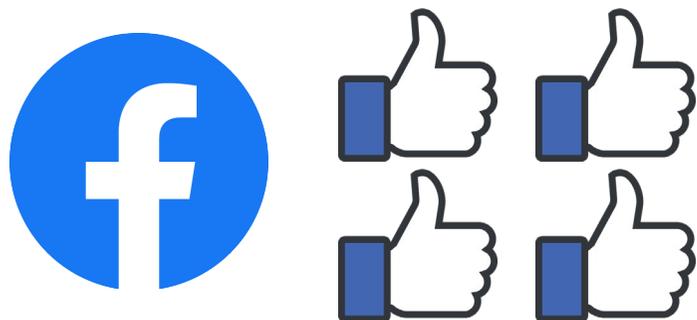
RESAS for Teachers <https://teacher.resas-portal.go.jp/>

RESAS de 地域探究 <https://tanq.resas-portal.go.jp/>

○ 授業モデル（8種類）

- 地方のチェンジ・メイカー育成プログラム【中学校 総学】【高等学校 総探】
- データを根拠に意見を主張してみよう【高等学校 情報Ⅰ 社会と情報】
- 収集したRESASなどの複数の情報を根拠に、自分の意見をまとめて論述しよう【高等学校 国語 現代の国語】
- 「生活圏の調査と地域の展望」でのRESAS活用【高等学校 地理総合】
- 訪日外国人の動向理解～「観光ビジネスにおけるマーケティングの特徴」でのRESAS活用～【高等学校 商業 観光ビジネス】
- 「地方から世界へ」を考える【高等学校 総探】
- 理系のための探究プログラム～雇用/医療・福祉マップ 医療受給データの比較から課題設定の基礎を学ぼう～【高等学校 総探】
- 地域の課題を発見し解決に取り組む探究学習「○○（市）活性化プロジェクト」【中学校 総学】【高等学校 総探】

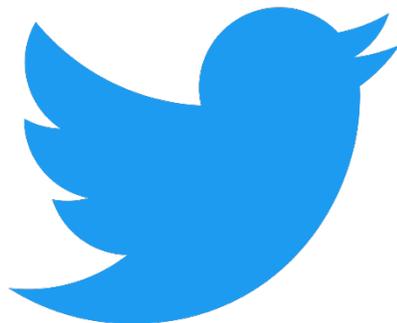
Facebook/YouTube/Twitter いいね！お願いします！



<https://www.facebook.com/cascaobdt/>
「ビッグデータチーム」で検索！



<https://www.youtube.com/channel/UCkwDhyiJ6DifwKeG8C6bkew>
URLは長いので、「RESASチャンネル」で検索！



https://twitter.com/RESAS_official
「@RESAS_official」で検索！